

令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組
 < 八代市立鏡中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>写真①</p>  <p>写真②</p>	<p>【生徒の宣言項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室等の照明や扇風機のスイッチの切り忘れ0を目指し、前年度より電気の使用量を減らします。 ・バケツ1杯の水で掃除を、コップ1杯の水で歯磨きをして、前年度より水の使用量を減らします。 ・リサイクルや裏紙の再利用を進め、燃えるごみと資源ごみを分別してごみの減少を目指します。（写真①） ・無言清掃を行い、校舎や校庭の美化に努めます。 ・アルミ缶やペットボトルキャップをそれぞれ1000個以上集めます。 ・給食は残食0を目指します。 <p>【職員の宣言項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室などの不要な照明や空調は消します。 ・冷暖房の使用時は、暖房を19℃（写真②）、冷房を28℃に設定します。 ・OA機器のスイッチをこまめに切ります。 ・両面印刷や裏面の再利用で、紙の消費量を前年度より減らします。 ・空き缶や空き瓶、ペットボトルはリサイクルします。 ・給湯室でのお湯や洗剤の使用を節約します。
行動	 <p>写真③</p>  <p>写真④</p>	<p>【生徒の取組】</p> <p>（1）教室の照明・扇風機のスイッチの切り忘れ0 教室の照明や扇風機のスイッチは、移動教室の際、各クラスの担当の生徒が切り、節電を心がけていた。</p> <p>（2）掃除はバケツ1杯の水、歯磨きはコップ1杯の水 掃除の際はバケツ1杯の水で（写真③）、歯磨きの際はコップ1杯の水で行い、節水を心がけていた。</p> <p>【各委員会を中心とした取組】</p> <p>（1）整美委員会 ア 縦割り無言清掃（写真④） 生徒総会で生徒会執行部の提案を受けて、特別教室や渡り廊下、外庭など、共同で使う場所に人数を割り当て、上級生をリーダーとして縦割りのグループで無言清掃に取り組んだ。また、生徒集会で、無言清掃の流れについて映像を使って全校生徒に説明・確認した。</p>



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧

イ 清掃用具点検

各清掃場所の清掃用具を学期に一回ずつ点検し、各クラスから出された不足数などを確認し、補充を行い、用具の管理の仕方や使い方なども説明をして大切に用具を使うよう呼びかけた。

ウ 各教室の扇風機の清掃（写真⑤）

各教室に設置してある扇風機を、使用する時期の前後に清掃を行った。

エ 美化標語の募集・掲示等

環境美化、リサイクル、節電・節水などに関する標語を全校生徒から募集し、廊下に掲示した。また、節水・節電の呼びかけポスターを掲示した。

オ 資源分別コーナーの整理整頓（写真⑧）

屋外にある資源分別コーナーを、整美委員会で定期的に整理した。

（２）ボランティア委員会

ア アルミ缶回収

今年度は、アルミ缶回収の実施は中止した。

イ ペットボトルキャップ回収（写真⑦）

各クラスのボランティア委員がペットボトルキャップ回収の呼びかけを行い、合計１０７４個集まった。回収したペットボトルキャップは、イオングループの店舗に持ち込み、途上国の子ども支援活動に参加した。

ウ 資源分別コーナーの整理整頓（写真⑧）

職員室後方にある古紙や冊子などを分別する資源分別コーナーを、ボランティア委員会で定期的に整理した。

（３）給食委員会

ア 残食調査による残食０の呼びかけ

当番の給食委員が返却後の食缶を点検し、各クラスで毎日どれだけの残食があるかを調べ、残食０に取り組んだ。




【職員の取組】

（１）職員室などの照明・空調の管理

職員室や特別教室などの照明や扇風機、冷暖房は、必要なときに適宜つけるようにしている。

（２）冷暖房の節約

基本的には冷房は２８℃、暖房は１９℃に設定し、職員室ではできるだけ窓を開けて扇風機を使った。冷房を使用

	 <p>写真⑨</p>  <p>写真⑩</p>	<p>する際にも扇風機を併用して、冷気の通りをよくして、冷房の温度を高めめに設定した。また、新型コロナウイルスの感染予防対策のため、窓を開けて換気をしながら冷暖房を使用した。</p> <p>(3) O A機器のスイッチのこまめな電源OFF</p> <p>パソコンやプリンター、印刷機、シュレッダーなどは、使用しない時間帯や退勤時などにはできるだけスイッチを切るようにしている。</p> <p>(4) 裏紙の再利用やリサイクル (写真⑨)</p> <p>印刷室に種類別に裏紙を整理し、両面印刷や裏紙の再利用に取り組んでいる。また、職員室に資源分別コーナーを置き、不要な紙類を各自で分別している。</p> <p>(5) 空き缶、空き瓶、ペットボトルのリサイクル (写真⑩)</p> <p>職員室から出る空き缶や空き瓶、ペットボトルは、ボランティア委員会の活動に協力したり、資源の日に資源ごみとして出したりしている。</p> <p>(6) 給湯室でのお湯や洗剤の節約</p> <p>給湯室でのお湯や洗剤の使用量を減らしている。</p>
記録	 <p>写真⑪</p>  <p>写真⑫</p>	<p>【生徒の取組】</p> <p>(1) 教室の照明・扇風機のスイッチの切り忘れ0</p> <p>各クラスの担当の生徒が移動教室の際、教室の照明や扇風機のスイッチを切っていたが、切り忘れも少なからずあった。</p> <p>(2) 掃除はバケツ1杯の水、歯磨きはコップ1杯の水</p> <p>日頃から当たり前のように掃除の際はバケツ1杯の水で、歯磨きの際はコップ1杯の水で行う (写真⑪) など、しっかり定着している。</p> <p>【各委員会を中心とした取組】</p> <p>(1) 整美委員会</p> <p>清掃の時間は短い、分担や取り組む方法を工夫して、集中して清掃することができた。また、リモートによる生徒集会で、無言清掃の流れについて、映像を使って全校生徒に説明・確認し、無言清掃の徹底を図ることができた。(写真⑫)</p> <p>(2) ボランティア委員会</p> <p>集められたアルミ缶はリサイクルにまわし、その収益を環境美化活動で使用する用具の購入等に充てている。また、集められたペットボトルキャップは回収業者に持ち込</p>



写真⑬



写真⑭



写真⑮

み、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈ることに役立っている。活動の成果を放送や掲示を通じて発表することで、生徒の活動意欲の喚起につながっている。

(3) 給食委員会

残食〇の取組を通して、給食を作ってくださる職員の方や食べ物に対する感謝の気持ちを表し、無駄な食べ残しで環境に影響を与えないようにしている。残食チェックを行い、残食〇を目指している(写真⑬)。残食は、全体的にはほとんどないが、1年生が他学年に比べると残食がやや見られる。また、ポスターや放送のほか、残食〇ウィークなどを設けて啓発を続けている。

【職員の取組】

(1) 職員室などの照明・空調の管理

職員室や特別教室などの照明や扇風機、冷暖房は、適宜つけるようにしており、きちんと節電ができています。

(2) 冷暖房の節約

冷房も暖房も規定の設定温度を守り、稼働させている。新型コロナウイルスの感染予防対策のため、窓を開けて換気をしなければならないので、多少の電気代のロスはあると思われる。

(3) O A機器のスイッチのこまめな電源OFF (写真⑭)

使用しない時間帯や退勤時などは、職員一人一人が意識してパソコンやプリンター、印刷機、シュレッダーなどのスイッチを切るように努めている。

(4) 裏紙の再利用やリサイクル (写真⑮)



職員に配付する校内用のプリントなどには裏紙を積極的に活用するようになった。また、職員室の資源分別コーナーがあることで、不要な紙類を単に紙ごみとするのではなく、分別してリサイクルに出したり、リユースしたりするようになった。

(5) 空き缶や空き瓶、ペットボトルのリサイクル

職員室から出る空き瓶や空き缶、ペットボトルは、ボランティア委員会の活動への協力や資源の日などに出すことでリサイクルができています。

(6) 給湯室でのお湯・洗剤の節約

給湯室でのお湯や洗剤の使用量を減らし、節約ができています。

見直し	 <p>写真⑯</p>  <p>写真⑰</p>	<p>(1) 裏紙の再利用に対する意識の向上 (写真⑯)</p> <p>紙のリサイクルに対する意識はかなり高まっていると思われる。しかし、まず「再利用」という意識をさらに高める必要がある。職員がまだ再利用できる用紙をシュレッダーにかけたり、リサイクルボックスに入れたりしている姿も目にする。これまで以上に、校内用のプリントに活用したり、メモ用紙などに活用したりすれば、紙ごみとして出される量はさらに減らすことができると思われる。</p> <p>(2) ペットボトルキャップ回収への関心 (写真⑰)</p> <p>ペットボトルキャップの回収をクラスマッチ形式で実施しているが、一部の生徒が頑張り、関心のない生徒は1個も持ってこない。強制ではないが、最低でも1人1個は持ってくるような取組にしていく必要がある。また、イオングループの店舗での回収が、近年の国内外のプラスチックを取り巻く環境の変化、および、プラスチックの使用量削減の強化の動き等から、2021年2月末日をもって終了するので、持ち込み先や取組自体を見直す必要がある。</p>
-----	---	--

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>(1) 節電・節水に対する意識の向上</p> <p>使用していない場所の照明や扇風機を意識して消したり、バケツ1杯の水で清掃をしたり、コップ1杯の水で歯磨きをしたりすることは生徒の中でかなり定着している。特に、節水に関しては、手を洗うときも水道の水を止めて、石けんを洗い流すときだけ水を流す生徒が見られるなど、節水に努める生徒が多く見られた。水道の使用量は前年度と比べると減少している。</p> <p>(2) リサイクルに対する意識の向上</p> <p>学級や職員室から出されるごみの大半を占めていた紙ごみが、整美委員会の呼びかけにより、リサイクルに回るようになった。また、ごみを出すためのごみ袋の使用枚数が減った。</p>	<p>(1) 節電に対する意識付け</p> <p>移動教室の際、教室の照明や扇風機の消し忘れが見られることがある。これは、クラスの担当の生徒が仕事を忘れてしまうことが原因だが、消し忘れに気付いた生徒や最後に教室を出る生徒が消せば防げることである。人任せにせずに自発的に節電を心がける生徒を増やしていく必要がある。</p> <p>(2) 環境に対する意識付け</p> <p>全校生徒の環境に対する意識は高まっているが、継続して高めるため、整美委員会・ボランティア委員会を中心として、さらに環境のことを考えて生活するような取組にしていく必要がある。</p>